（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	たいむクラブ八幡東

公表日　令和　7　年　3　月　31　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		2階支援室を区切り、適切な人数で利用しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		利用者の人数に応じて、適切な人員配置を行なっています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		エレベーターの設備がなく階段のみであるが、階段幅は十分にあり、手すりを設置し安全面にも配慮をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		館内清掃、消毒を常に行い、子どもが安心して過ごせる環境作りを行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンできるスペースを設けており、状況に応じて使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルを心掛け、ミーティングを行い、職員間で意見交換を行なっています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表を活用し、職員間で周知し改善に取り組んでいます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		面談やアンケートを実施し、職員の意見・要望を業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後、必要に応じて実施を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月1回の社内研修を設け、職員の意識向上に努めています。また、社外研修にも積極的に参加しています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		5つの領域における活動を組み合わせ子供たちが楽しみながら取り組めるプログラムを作成しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		保護者面談や日々の話し合いで課題を一緒に決めています。また相談支援との連携を取り、必要なニーズを把握して作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画を作成する際、会議を行い、支援に関わる職員の意見も盛り込み計画書を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		支援計画に沿った支援に取り組んでいます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールを使用し、個々の状況の把握に努めています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		子どもの特性を考慮し、その子に応じた、支援、療育ができるような支援内容を設定するように努めています。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		工作や体を動かす活動等、職員間で意見を出し合ってプログラムを計画、実行しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		プログラム内容を見直し、季節に合わせた制作物を取り入れながら、スキルアップに繋がるようなプログラムを作成しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個々の状況に合わせ、個別活動と集団活動を盛り込んだ計画書を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日には当日スケジュール表で確認し、職員間で支援内容や役割分担の確認を必ず行います。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○		支援中に気になった点を職員間で振り返りを行い、情報共有を行なっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援記録を取り、記録を基に計画の見直しを行なっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		年に2回のモニタリングを実施し、見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		ガイドラインに沿った内容を設定し支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動内容や遊びの選択肢を複数提示し、子ども自身が興味のあるものを選べるようにしています。また、日々の支援の中で「どうしたい？」といった問いかけを行い、自己決定する力の育成に心掛けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		施設長または管理者、児童発達支援管理責任者、日頃支援に携わっている支援員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		状況に応じた情報共有と相互理解に努めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校行事はメールやFAX等で情報確認し、送迎時に利用者の様子を確認して情報共有を行なっています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		状況に応じた情報共有と相互理解に努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		状況に応じた情報共有と相互理解に努めています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。		○		今後は児童発達支援センターによる研修等に積極的に参加し、指導や助言等を受ける機会を設けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		現状、そのような機会は設けていないので今後検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		現在は参加していませんが、今後は参加を検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳アプリや送迎時の受け渡しの時間を活用し情報共有を行なっています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		状況に応じて保護者に寄り添った支援を提供しています。	保護者参加の研修や情報提供できる機会も今後検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約の際に丁寧に説明を行うとともに、ご質問いただいた際には速やかに対応しています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		支援計画の作成にあたっては、面談の機会を設け家庭での様子や支援に対する要望など丁寧にお聞きしています。また、子どもの発達状況や興味関心についても保護者と共有したうえで計画に反映しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○		計画書の紙面を示しながら保護者が理解できるように説明し同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		その都度相談に応じ、職員間で情報共有し、内容によっては各関係機関につなげ必要な支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		保護者会の開催は保護者の意向を伺ったうえで、検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		日頃より保護者の方と情報共有を行っており、苦情があった際には迅速に対応しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		活動概要や行事予定は毎月の活動予定表へ記載し発信しています。また、会報は連絡帳アプリやSNSを活用して掲載しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		事業所内で保有している個人情報は外部に漏らさないよう厳重に注意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		伝達方法を工夫したり、意思疎通ができるまで寄り添った配慮を実施しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域住民の方や保護者を招待するバザーを開催しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成しています。また定期的に研修を行い緊急時にも対応できるようにしています。	保護者への周知が十分でない為、HPやSNS等を活用し周知していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、非常災害に備え、年4回避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者より情報を確認し把握するようにしています。また、変更がある場合は都度お知らせいただくようお伝えしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーの有無を確認し、適切な対応を行なっています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		毎月安全計画会議を行い、必要な訓練や措置を話し合い実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○			安全計画に関する取り組み内容をその都度報告はしているが、周知が十分でないため、連携も含め検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットだけでなく、全ての報告書を全事業所で共有し、防止対策を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修を通して虐待に関する知識、意識の向上に努めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現状身体拘束を行う利用者はいませんが、やむを得ず身体拘束を行う場合は身体拘束契約書を作成し、保護者の方へ説明、同意をいただき個別支援計画書へ記載しています。	